

事業所名

発達支援教室アウル宮前

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

3 月

1 日

法人（事業所）理念		法人理念：みんなのために ～利用者を思い、その家族を思い、職員を思い、その家族を思い、そして、地域を思う～						
支援方針		その子らしい成長を支援する ～子どもたちが、自ら考え実践し成長する～ 心身の発達に気がかりのあるお子様がスムーズに小学校生活を楽しめるようにABA（応用行動分析学）やPECS®（絵カード交換式コミュニケーションシステム）などを軸にした複数人のクラスによってコミュニケーションの問題を解決することに重点を置いています。 日常生活を想定した様々なプログラムと、ご両親へのきめ細かいフォローによって一人ひとりの課題に即して本人の自己肯定感を高めていきます。						
営業時間		9 時	0 分	17 時	0 分	まで（12時から13時までを除く）	送迎実施の有無	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	健康状態の維持や改善、基本的な生活スキルの習得、生活リズム形成の支援方法を保護者様とともに考えます。睡眠、食事、排泄を身に付ける方法、本人の発達段階と生活環境を把握し、繰り返しの支援で本人の自発、自立を促します。						
	運動・感覚	子どもの持つ感覚の特性を把握し、遊びを通じて、全身の様々な感覚の成長を支援します。 日常生活に必要な身体の動作、移動や姿勢保持などを、遊びを通して定着を図ります。						
	認知・行動	特性に合わせて、どのような方法、環境の設定であれば取り組みやすいかを模索し、支援します。また、少し苦手なことへも「頑張ってみる」等、課題に向く姿勢、力がつくように支援します。がんばると「楽しい」、「やってよかった」と感じるように関わり、困難さの軽減を図ります。						
	言語 コミュニケーション	言葉だけでなく、非言語性のコミュニケーション（身振り、指差し、サイン、写真、カードなど）など、子どもにあった方法を考え、支援することにより、指示の理解と自分の意思表示ができる経験をつみ、コミュニケーション能力の向上を図ります。 友だちや大人とのやりとりを経験する中で、発語を引き出し、言葉の意味に結び付け、言葉を体系的に身に付けることができよう支援します。						
	人間関係 社会性	支援者に対して、安心して関われる環境を作り、愛着形成を図ります。 遊びを通して、まわりの友だちとルールのある遊びを楽しみ、社会性を広げられるように支援します。 自分の気持ちを伝え、折り合いをつけ、コントロールができる方法を身につけられるように支援します。						
家族支援		子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助を実施し、子育ての困りごとの解決策を保護者とともに模索します。同様に兄弟姉妹への相談援助も実施します。 年2回程度、ペアレント・トレーニング（全6回）を実施します。			移行支援		併用利用先（幼稚園・保育園）との情報共有、連携 保護者の希望により、就学支援シートの作成 就園先への引き継ぎ	
地域支援・地域連携		地域の障害児通所支援事業所との連携・連絡会への参加 関係機関との情報共有、相互見学 行政、子ども発達センター主催の研修会への参加 地域、保育園向け発達支援講座の開催			職員の質の向上		職場内研修（子どもの権利、虐待防止、身体拘束禁止等）の実施 関係機関主催の研修会への参加 併設保育所との合同研修の実施 関係機関との合同研修の開催	
主な行事等		避難訓練 季節ごとの制作 芸術鑑賞会への参加						